

令和7年度 事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	ドーピング検査推進事業(ドーピング防止啓発活動推進事業)			
助成対象者名	公益財団法人日本テニス協会			
事業名	ドーピング防止教育啓発事業			
目的及び期待される効果	主要競技会および地域テニス協会において、選手・指導者・親権者・大会関係者ならびに日本テニス協会地域役員に対してアンチ・ドーピングに関する啓発講習会およびアウトリーチ活動を実施する。さらに、未成年アスリートに対し、ドーピング検査に対する親権者同意書携行に対応するため、全日本ジュニア選手権において周知を図る。また、JOCジュニアオリンピックカップ、ジュニアユース合宿等、日本代表を意識する大会や海外遠征代表選考会においてアンチ・ドーピング講習会を実施する。これによって、テニス競技に参加するアスリートおよび指導者・大会主催者にアンチ・ドーピングルールの周知徹底を図り、幅広い世代に対して継続したアンチ・ドーピング体制の確立を図ることができる。			
前年度実績及び 当該年度見込(目標)		令和6年度実績(見込含む) ※実施団体のみ記載	令和7年度見込	
	延べ参加人数	50人	200人	
	実施回数	3回	6回	
実施する事業の内容 (期間・場所・対象者等)	〔実施事業の内容〕			
	開催期間・開催日	2024年4月1日～2025年3月31日の間で6回開催予定□		
	開催場所	小学生、中学生、高校生、一般・プロと各世代における全国大会会場等		
	対象者	ジュニア選手、一般・プロ登録選手		
	事業の内容	全日本ジュニアテニス選手権におけるアウトリーチ活動 JOCジュニアオリンピックカップ、指導者研修会、新規プロフェッショナル研修会における、アンチ・ドーピング講義 NTCにおけるナショナルチーム、ユースチーム、ナショナルジュニアを対象とした研修		
	事業の充実度 (複数選択可)	○	対象者を拡大 ()	
			内容を充実 ()	
			変更なし(規模等を縮小)	
※令和6年度に助成対象者が実施した(予定も含む)アンチ・ドーピング活動と比較すること。				
事業の実施状況及び 実施結果並びに 助成金の使途に関する 情報の公開方法 ※交付要綱第23条において、 『助成事業者は、助成事業の実 施状況及び実施結果並びに助成 金の使途に関する情報を公開す るものとする。』と規定されていま すので、必ず対応するようにして 下さい。	情報の公開方法 (複数選択可)	○	HPで公開する	
		○	広報誌・会報誌等で公開する	
			事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する	
		○	情報開示請求があった場合に開示する	
	公表する内容 (複数選択可)		事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する)	
		○	事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する)	
			助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する)	
備考				